



平成23年2月期 第1四半期決算短信

平成22年7月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 セブン&アイ・ホールディングス

コード番号 3382 URL <http://www.7andi.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 最高執行責任者 (氏名) 村田 紀敏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 氏家 忠彦

TEL 03-6238-3000

四半期報告書提出予定日 平成22年7月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第1四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	1,245,820	0.3	52,436	△10.6	52,661	△10.0	24,294	2.5
22年2月期第1四半期	1,241,735	—	58,649	—	58,507	—	23,692	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年2月期第1四半期	27.05	27.05
22年2月期第1四半期	26.22	26.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年2月期第1四半期	3,599,894	1,751,280	46.6	1,900.47
22年2月期	3,673,605	1,793,940	46.9	1,905.97

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 1,679,011百万円 22年2月期 1,721,967百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年2月期	—	28.00	—	28.00	56.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期(予想)	—	28.00	—	28.00	56.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期	2,560,000	0.5	122,000	3.3	121,000	2.1	55,000	25.9	61.25
連結累計期間	5,200,000	1.7	240,000	5.9	237,000	4.4	100,000	122.8	111.36

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年2月期第1四半期	906,441,983株	22年2月期	906,441,983株
② 期末自己株式数	23年2月期第1四半期	22,972,423株	22年2月期	2,983,875株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	23年2月期第1四半期	897,994,802株	22年2月期第1四半期	903,458,134株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後様々な要因によって本資料に記載した予想とは異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 当第1四半期の業績概況

当第1四半期における小売業を取り巻く環境は、企業収益の改善傾向を受けて個人消費は持ち直しの動きが見られたものの、頻度品を中心とした物価の緩やかな下落が続くなど、依然として弱含みのまま推移いたしました。

このような環境の中、当第1四半期(平成22年3月1日～平成22年5月31日)における当社の連結業績は以下のとおりとなりました。

営業収益は、国内事業の売上が総じて伸び悩んだものの、北米におけるガソリン単価が上昇したことなどにより1兆2,458億2千万円(前年同期比0.3%増)となりました。営業利益は、524億3千6百万円(同10.6%減)となりました。また、経常利益は、526億6千1百万円(同10.0%減)、四半期純利益は、242億9千4百万円(同2.5%増)となりました。

(単位:百万円)

	平成22年2月期第1四半期		平成23年2月期第1四半期	
		前年同期比		前年同期比
営業収益	1,241,735	10.8%減	1,245,820	0.3%増
営業利益	58,649	17.5%減	52,436	10.6%減
経常利益	58,507	16.1%減	52,661	10.0%減
四半期純利益	23,692	28.3%減	24,294	2.5%増
為替レート	US\$1=93.76円		US\$1=90.69円	
	1元=13.93円		1元=13.29円	

(2) 事業の種類別セグメントの営業概況

コンビニエンスストア事業

コンビニエンスストア事業における営業収益は4,814億1千2百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益は405億9千1百万円(同9.7%減)となりました。

国内におきましては、(株)セブン・イレブン・ジャパンが平成22年5月末時点で38都道府県において12,746店舗(前期末比7店舗減)を展開しております。販売面では、高齢化や働く女性の増加といった社会の変化に対応した「近くて便利なお店」の実現に向けて、質の高いファスト・フード商品の開発に引き続き注力するとともに、グループのプライベートブランド商品「セブンプレミアム」を中心とした頻度品の品揃えを強化いたしました。これらの結果、当第1四半期における既存店売上高伸び率は後半にかけて回復傾向にあったものの、春先の天候不順の影響により若干の前年割れとなりました。なお、自営店と加盟店の売上を合計した国内チェーン全店売上高は6,939億8千万円(前年同期比0.8%増)となりました。

北米におきましては、7-Eleven, Inc.が平成22年3月末時点でフランチャイズ店の4,694店舗(前期末比45店舗増)を含む6,420店舗(同31店舗増)を展開しております。ファスト・フード商品やプライベートブランド商品の開発及び販売に引き続き注力したことにより、天候不順の影響はあったものの、ドルベースの米国既存店商品売上高伸び率はほぼ前年並みを確保いたしました。なお、全体の売上高はガソリン単価の伸長により前年同期比13.0%増の3,402億4千6百万円となりました。

中国におきましては、セブン・イレブン北京有限会社が平成22年3月末時点で93店舗(前期末比1店舗増)を展開しており、91店舗は北京市内にて、2店舗は天津市内にてそれぞれ運営しております。

スーパーストア事業

スーパーストア事業における営業収益は4,941億9千8百万円(前年同期比5.4%減)、営業利益は45億4千5百万円(同15.2%減)となりました。

国内の総合スーパーにおきましては、(株)イトーヨーカ堂が平成22年5月末時点で173店舗(前期末比1店舗減)を運営しております。販売面では、カード会員様向けセールを強化するとともに、衣料品分野における機能性肌着等のオリジナ

ル商品の開発・販売や食品分野における生鮮食品を中心とした値頃感のある品揃えの強化を図ったものの、消費者の節約志向は依然として高く、売上は弱含みで推移いたしました。

国内の食品スーパーにおきましては、平成22年5月末時点で㈱ヨークベニマルが東北地方を中心に165店舗(前期末比1店舗増)、㈱ヨークマートが首都圏に63店舗(同1店舗増)を運営しております。「セブンプレミアム」の積極的な販売を継続するとともに、売場におけるメニュー提案を強化したものの、東北地方を中心とした経済環境の影響などから、売上は厳しいまま推移いたしました。

中国におきましては、平成22年3月末時点で北京市に総合スーパー9店舗と食品スーパー1店舗、四川省成都市に総合スーパー4店舗をそれぞれ展開しております。

百貨店事業

百貨店事業における営業収益は2,217億5百万円(前年同期比0.8%減)、営業利益は1億3千9百万円(同82.9%減)となりました。

百貨店事業におきましては、最大の基幹店舗である西武池袋本店を中心に、積極的な店舗改装による売場の活性化と営業力の強化を図りました。衣料品の売上は依然として弱含みであるものの、美術・宝飾品などの高額商品の売上が回復基調であったことに加え、カード会員様向けの販売促進を積極的に実施したことなどにより、既存店売上高伸び率はほぼ前年並みの水準となりました。

フードサービス事業

フードサービス事業における営業収益は205億8百万円(前年同期比11.5%減)、前期から3億9千4百万円改善の6千1百万円の営業損失となりました。

フードサービス事業におきましては、収益性の改善に向けた経費削減を進める中、レストラン事業部門におきまして不採算店舗を中心に16店舗の閉鎖を実施いたしました。主力アイテムのメニュー強化による既存店舗の活性化やテレビ番組放映の効果などにより客数は回復傾向にありましたが、外食業界を取り巻く環境は厳しさを増しており、売上は弱含みで推移いたしました。

金融関連事業

金融関連事業における営業収益は277億5千6百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益は75億8千4百万円(同1.8%減)となりました。

㈱セブン銀行におきましては、平成22年5月末時点のATM設置台数が14,626台(前期末比56台増)まで拡大いたしました。主に法改正に伴う貸金業提携先のキャッシング取引件数の減少により、当第1四半期中の1日1台当たり平均利用件数につきましては114.8件(前年同期比0.2件減)となりました。また、「nanaco(ナナコ)」の発行総件数は約1,150万件(前期末比約170万件増)と伸びました。

その他の事業

その他の事業における営業収益は79億2千3百万円(前年同期比3.1%減)、営業損失は2億5千5百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(連結財政状態)

総資産は、前期末に比べ737億1千万円減の3兆5,998億9千4百万円となりました。負債は、前期末に比べ310億5千1百万円減の1兆8,486億1千3百万円となりました。純資産は、四半期純利益による増加に対し、自己株式の取得に伴う減少などにより、前期末に比べ426億5千9百万円減の1兆7,512億8千万円となりました。なお、平成22年4月8日開催の取締役会の決議に基づき取得いたしました自己株式2千万株は、同年6月30日に消却いたしました。

（単位：百万円）

	平成22年2月期末	平成23年2月期 第1四半期末	増減
総資産	3,673,605	3,599,894	△73,710
負債	1,879,664	1,848,613	△31,051
純資産	1,793,940	1,751,280	△42,659

（連結キャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益などにより、1,307億6千5百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、店舗の新規出店や改装に伴う有形固定資産の取得による支出などにより686億9千万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や自己株式取得による支出に加え、㈱イトーヨーカ堂における社債の償還による支出があったことなどにより942億8千6百万円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は6,860億3千万円となりました。

（単位：百万円）

	平成22年2月期 第1四半期	平成23年2月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	137,752	130,765	△6,986
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,562	△68,690	△19,127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,117	△94,286	△74,168
現金及び現金同等物の四半期末残高	733,019	686,030	△46,989

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成22年4月8日発表の業績予想から変更はありません。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

1) たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2) 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	594,013	691,633
受取手形及び売掛金	137,378	119,627
営業貸付金	67,233	68,243
有価証券	150,025	55,025
商品及び製品	158,258	158,889
仕掛品	38	16
原材料及び貯蔵品	2,735	2,489
前払費用	36,986	31,606
繰延税金資産	29,204	28,360
その他	209,253	308,716
貸倒引当金	△4,941	△4,421
流動資産合計	1,380,185	1,460,186
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	483,223	485,081
工具、器具及び備品（純額）	132,560	133,215
土地	524,582	520,320
リース資産（純額）	7,650	4,485
建設仮勘定	52,288	52,495
その他（純額）	99	110
有形固定資産合計	1,200,405	1,195,709
無形固定資産		
のれん	195,459	197,126
ソフトウェア	34,620	34,767
その他	65,919	65,638
無形固定資産合計	295,998	297,531
投資その他の資産		
投資有価証券	175,271	168,850
長期貸付金	19,431	19,657
前払年金費用	11,538	12,149
差入保証金	432,394	438,028
建設協力金	15,541	15,507
繰延税金資産	25,856	26,134
その他	50,230	46,693
貸倒引当金	△7,004	△6,903
投資その他の資産合計	723,260	720,118
固定資産合計	2,219,664	2,213,359
繰延資産		
創立費	44	58
繰延資産合計	44	58
資産合計	3,599,894	3,673,605

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	320,860	292,628
短期借入金	131,500	151,200
1年内返済予定の長期借入金	80,721	79,155
1年内償還予定の社債	200	20,385
未払法人税等	23,883	42,255
未払費用	78,613	76,692
預り金	167,505	173,937
販売促進引当金	14,157	13,134
賞与引当金	24,309	14,377
役員賞与引当金	89	269
商品券回収損引当金	3,652	4,058
銀行業における預金	183,035	185,745
その他	201,463	209,531
流動負債合計	1,229,992	1,263,370
固定負債		
社債	189,969	190,068
長期借入金	244,256	244,470
コマーシャル・ペーパー	23,080	16,208
繰延税金負債	37,388	38,343
退職給付引当金	3,670	3,493
役員退職慰労引当金	2,277	2,490
長期預り金	55,755	55,827
その他	62,220	65,391
固定負債合計	618,620	616,293
負債合計	1,848,613	1,879,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	576,069	576,072
利益剰余金	1,171,275	1,172,263
自己株式	△56,478	△9,270
株主資本合計	1,740,866	1,789,065
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,200	3,227
繰延ヘッジ損益	△449	△549
為替換算調整勘定	△65,605	△69,776
評価・換算差額等合計	△61,855	△67,097
新株予約権	688	721
少数株主持分	71,581	71,251
純資産合計	1,751,280	1,793,940
負債純資産合計	3,599,894	3,673,605

（2）四半期連結損益計算書
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成21年3月1日 至平成21年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成22年3月1日 至平成22年5月31日）
営業収益	1,241,735	1,245,820
売上高	1,103,629	1,105,731
売上原価	807,046	824,911
売上総利益	296,583	280,819
その他の営業収入	138,105	140,089
営業総利益	434,689	420,908
販売費及び一般管理費	376,039	368,472
営業利益	58,649	52,436
営業外収益		
受取利息	1,304	1,352
持分法による投資利益	305	277
その他	1,137	1,199
営業外収益合計	2,747	2,829
営業外費用		
支払利息	1,721	1,326
社債利息	606	454
その他	561	823
営業外費用合計	2,889	2,604
経常利益	58,507	52,661
特別利益		
固定資産売却益	225	140
貸倒引当金戻入額	110	102
受取補償金	—	335
その他	61	342
特別利益合計	397	922
特別損失		
固定資産廃棄損	1,188	1,436
減損損失	1,416	1,587
店舗閉鎖損失	2,519	—
その他	1,689	1,611
特別損失合計	6,813	4,635
税金等調整前四半期純利益	52,091	48,948
法人税、住民税及び事業税	24,588	23,514
法人税等調整額	286	△1,751
法人税等合計	24,875	21,762
少数株主利益	3,524	2,891
四半期純利益	23,692	24,294

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成21年3月1日 至平成21年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成22年3月1日 至平成22年5月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	52,091	48,948
減価償却費	32,032	31,250
減損損失	1,416	1,587
受取利息	△1,304	△1,352
支払利息及び社債利息	2,328	1,780
持分法による投資損益（△は益）	△305	△277
固定資産売却益	△225	△140
固定資産廃棄損	1,188	1,436
売上債権の増減額（△は増加）	△20,172	△17,648
営業貸付金の増減額（△は増加）	339	1,009
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,341	743
仕入債務の増減額（△は減少）	31,313	27,764
預り金の増減額（△は減少）	79,191	28,792
銀行業における借入金の純増減（△は減少）	△10,000	△11,700
銀行業における預金の純増減（△は減少）	△2,552	△2,709
銀行業におけるコールローンの純増減（△は増加）	10,000	△4,000
銀行業におけるコールマネーの純増減（△は減少）	10,900	△16,500
A T M未決済資金の純増減（△は増加）	—	69,995
その他	5,911	18,148
小計	190,811	177,129
利息及び配当金の受取額	1,271	748
利息の支払額	△2,414	△1,557
法人税等の支払額	△51,915	△45,553
営業活動によるキャッシュ・フロー	137,752	130,765
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△41,736	△34,033
有形固定資産の売却による収入	16,139	812
無形固定資産の取得による支出	△2,827	△3,971
投資有価証券の取得による支出	△84,220	△82,985
投資有価証券の売却による収入	83,840	78,147
貸付けによる支出	△6,163	△90
貸付金の回収による収入	143	226
差入保証金の差入による支出	△8,151	△3,403
差入保証金の回収による収入	8,704	8,886
預り保証金の受入による収入	894	1,151
預り保証金の返還による支出	△2,561	△1,153
譲渡性預金の預入による支出	—	△40,000
定期預金の払戻による収入	—	11,706
その他	△13,624	△3,983
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,562	△68,690

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,400	△8,000
長期借入れによる収入	16,000	13,300
長期借入金の返済による支出	△17,969	△12,335
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	65,189	98,750
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	△57,061	△91,315
社債の償還による支出	△327	△20,285
配当金の支払額	△25,322	△24,504
自己株式の取得による支出	—	△47,276
その他	△2,026	△2,619
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,117	△94,286
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,463	920
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	69,535	△31,289
現金及び現金同等物の期首残高	663,483	717,320
現金及び現金同等物の四半期末残高	733,019	686,030

表示方法の変更

（連結キャッシュ・フロー計算書）

- 1 営業活動によるキャッシュ・フローの「ATM未決済資金の純増減」は前第1四半期連結累計期間において「その他」に含めて表示しておりましたが、重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より区分掲記しております。なお、前第1四半期連結累計期間の「その他」に含まれている「ATM未決済資金の純増減」は△17,059百万円であります。
- 2 投資活動によるキャッシュ・フローの「譲渡性預金の預入による支出」および「定期預金の払戻による収入」は前第1四半期連結累計期間において「その他」に含めて表示しておりましたが、重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より区分掲記しております。なお、前第1四半期連結累計期間の「その他」に含まれている「譲渡性預金の預入による支出」および「定期預金の払戻による収入」はそれぞれ△25,000百万円、975百万円であります。
- 3 財務活動によるキャッシュ・フローの「自己株式の取得による支出」は前第1四半期連結累計期間において「その他」に含めて表示しておりましたが、重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より区分掲記しております。なお、前第1四半期連結累計期間の「その他」に含まれている「自己株式の取得による支出」は△6百万円であります。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成21年3月1日 至 平成21年5月31日）（単位：百万円）

	コンビニ エンス ストア	スーパー ストア	百貨店	フード サービス	金融関連	その他	計	消去又は 全社	連結
営業収益および営業損益									
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	442,416	521,799	223,428	22,912	25,032	6,145	1,241,735	—	1,241,735
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	165	728	62	262	2,992	2,031	6,243	△ 6,243	—
計	442,581	522,527	223,491	23,175	28,025	8,177	1,247,978	△ 6,243	1,241,735
営業費用	397,612	517,170	222,671	23,631	20,299	8,005	1,189,390	△ 6,305	1,183,085
営業利益又は営業損失(△)	44,969	5,357	819	△ 455	7,725	171	58,587	61	58,649

当第1四半期連結累計期間（自平成22年3月1日 至 平成22年5月31日）（単位：百万円）

	コンビニ エンス ストア	スーパー ストア	百貨店	フード サービス	金融関連	その他	計	消去又は 全社	連結
営業収益および営業損益									
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	481,262	492,367	221,579	20,268	24,361	5,979	1,245,820	—	1,245,820
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	150	1,830	125	239	3,394	1,943	7,684	△ 7,684	—
計	481,412	494,198	221,705	20,508	27,756	7,923	1,253,504	△ 7,684	1,245,820
営業費用	440,821	489,653	221,565	20,569	20,172	8,178	1,200,961	△ 7,577	1,193,383
営業利益又は営業損失(△)	40,591	4,545	139	△ 61	7,584	△ 255	52,543	△ 107	52,436

(注) 1. 事業の区分は、提供する商品とサービス及び販売形態により区分しております。

2. 各事業区分の主な内容

- | | |
|------------------|--|
| (1) コンビニエンスストア事業 | セブン-イレブンの名称による直営方式及びフランチャイズ方式によるコンビニエンスストア |
| (2) スーパーストア事業 | 総合スーパー、食品スーパー、専門店等 |
| (3) 百貨店事業 | 株式会社そごう・西武を中心とした百貨店事業 |
| (4) フードサービス事業 | レストラン事業、コントラクトフード事業(社員食堂、病院、学校などにおける給食サービスの受託)、ファストフード事業 |
| (5) 金融関連事業 | 銀行、クレジットカード、リース等 |
| (6) その他の事業 | IT事業、サービス等 |

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日）

（単位：百万円）

	日本	北米	その他の地域	計	消去	連結
営業収益および営業損益						
営業収益						
(1)外部顧客に対する						
営業収益	912,249	308,195	21,290	1,241,735	—	1,241,735
(2)セグメント間の内部						
営業収益又は振替高	100	661	—	762	△ 762	—
計	912,350	308,856	21,290	1,242,497	△ 762	1,241,735
営業費用	857,228	306,364	20,272	1,183,865	△ 780	1,183,085
営業利益	55,121	2,492	1,017	58,631	18	58,649

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日）

（単位：百万円）

	日本	北米	その他の地域	計	消去	連結
営業収益および営業損益						
営業収益						
(1)外部顧客に対する						
営業収益	872,857	348,516	24,446	1,245,820	—	1,245,820
(2)セグメント間の内部						
営業収益又は振替高	116	660	—	776	△ 776	—
計	872,973	349,177	24,446	1,246,596	△ 776	1,245,820
営業費用	822,738	347,658	23,777	1,194,175	△ 792	1,193,383
営業利益	50,234	1,518	668	52,421	15	52,436

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. その他の地域に属する国は、中国であります。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日）（単位:百万円）

	北米	その他の地域	合計
I 海外営業収益	308,195	21,290	329,485
II 連結営業収益	—	—	1,241,735
III 連結営業収益に占める 海外営業収益の割合(%)	24.8	1.7	26.5

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日）（単位:百万円）

	北米	その他の地域	合計
I 海外営業収益	348,516	24,446	372,963
II 連結営業収益	—	—	1,245,820
III 連結営業収益に占める 海外営業収益の割合(%)	28.0	1.9	29.9

- (注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. その他の地域に属する国は、中国であります。
 3. 海外営業収益は、連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高およびその他の営業収入の合計額
 であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。